

## 平成29年度事業報告

自 平成29年4月 1日  
至 平成30年3月31日

### 1. 概況

一般社団法人 半田法人会（以下、「当会」という。）は、本年「公益社団法人」の認定取得に向け、定款・諸規定の整備を図り、事業内容について見直しを継続しながら公益目的事業を推進してきました。

また監督官庁である愛知県に対し、公益申請手続きを進めてまいりました。事業活動としては、以下の事業を実施しました。

### 2. 事業報告について

#### (1) 税知識の普及を目的とする事業

税法及び税関連の研修会、講演会及びセミナー等を委員会、部会及び支部において開催しました。講師は半田税務署長、署担当官ならびに税理士等の専門家に依頼し、企業ニーズに合わせたテーマや税制改正、国際課税及び相続税・贈与税等を取り上げました。

#### (2) 納税意識の高揚を目的とする事業

##### ① 租税教室

半田税務署管内5市5町（以下、「管内」という。）の小学校を対象に青年部会及び女性部会が中心となって租税教室を開催しました。

派遣講師：延べ52名

派遣小学校：23校、受講者数：1,903名（昨年18校 約1,578名）

##### ② 税を考える週間行事（「祭・de・TAX」事業）

「税を考える週間」では、当会の特色ある事業である「祭・de・TAX '17」を大府市勤労文化会館において、優秀作品の展示と表彰式を行いました。

事業終了後は、管内各自治体の庁舎内ロビー等において、各地域の入賞作品を約1週間に亘って展示し、一般市民向けに当会の税啓蒙活動をPRしました。

応募総数：「小学生ぬりえ」4,309点「中学生短歌」1,148点

後援団体：管内税務関係当局、管内教育委員会及び小中学校、税務連絡協議会、納税貯蓄組合ほか多数の団体

### ③高校生フォーラム

「高校生フォーラム」は、管内高校生に対し税をテーマとした討論を通じて社会の一員としての自覚や社会への貢献意識を醸成する場とする目的で、税制・研修委員会と青年部会の共同事業として開催しました。

企画段階から開催まで十分な時間を費やした結果、参加者並びに教諭からも高い評価を得、新聞社及び地元ケーブルテレビなど公共メディアにも取り上げられるなどして当事業を大いにPRしました。

## (3) 税制及び税務に関する調査並びに提言に関する事業

会員企業を中心に税制及び税務に関するアンケート調査を行い、これを提言書として取りまとめ愛知県法人会連合会を通じて全国法人会総連合に上申するとともに税制及び税務に関する提言書は、地元国会議員、管内首長及び税務課長に手交しました。

## (4) 地域企業の健全な発展に資する事業

### ①企業施設見学会

地域を代表する企業施設を訪問して、経営上のノウハウなどを学ぶ研修会を開催しました。

### ②企業向け実務研修会

企業実務をテーマとした経理担当者研修会や経営研修会を開催しました。

### ③地域企業の健康・医療等の増進を目的とする事業

地域企業の経営者や従業員の健康・医療等の増進を目的とするライフプランセミナーや会員親睦ゴルフ事業を開催しました。

## (5) 地域社会への貢献を目的とする事業

### ①女性部会事業

「第3回チャリティー・イベント」では、一般参加者を含め約350名の参加があり、当会のチャリティー事業についてPRしました。

### ②事業委員会事業

地域の文化施設を巡り歴史とその意義を学ぶ「ご当地巡りツアー」を実施しました。

### ③支部事業

「おおぶ産業文化まつり」、「知多市産業まつり」、「武豊町スマイルマラソン」など各市町で開催するイベントにおいて、一般市民に対して税啓蒙グッズの配布やぜんざいの無料配布などを行い、地域社会への貢献活動を実施しました。

### ④寄附事業

会員企業の協力による「使用済み切手」や「書き損じハガキ」による

寄附活動も引き続き実施しました。

平成30年3月31日までの累計結果

使用済み切手	686.1kg
書き損じハガキ切手交換分	801,582円
チャリティコンサート寄附	現金 9,207円
	ペットボトルキャップ 50.0kg
	使用済み切手 10.6kg

(6) 広報事業

会報誌「歩一歩」は、税知識の普及と納税意識の高揚を目的とする事業や地域社会や企業の発展と社会貢献を目的とする事業など当会の活動を広く広報するため、会員、関係団体及び各自治体へ配布しました。

発行回数：年3回（5月・9月・1月）発行部数：各4,800部

(7) 福利厚生事業

協力保険会社3社と開催する「福利厚生制度連絡協議会」については、組織増強運動及び福利厚生制度推進運動は、相互に関係が深いことから、組織委員会と合同会議という形で初開催することによって、相互の協力・連携関係が築かれ良好な結果に結びつきました。

a. 法人会福利厚生制度の加入状況

単位：社

協力保険会社名	保険の名称	加入会員数
大同生命保険株式会社	法人会大型総合保障制度	673
AIG 損害保険株式会社	ビジネスガード	339
アフラック	がん保険制度	503

b. 独立行政法人郵便貯金・簡易生命保険管理機構(簡保)状況

取扱郵便局	保険の名称	加入口数
半田郵便局・旧武豊郵便局	簡易保険	118

(8) 会員増強推進事業

会員増強推進事業は、新規会員加入勧奨と福利厚生制度の推進と併せて組織委員会及び厚生委員会の合同会議を開催しました。会議を合同開催することで支部役員、支援会メンバー及び保険会社推進員との連携及び情報共有が緊密に図れ、加入率において県内第2位となりました。

### 支部別会員数の状況

(単位：社、%)

区分 支部名	H29.4.1 現在		入会数	退会数	H30.3.31 現在	
	会員数	加入率			会員数	加入率
半田1	430	50.7	17	15	432	49.5
半田2	410	70.0	8	17	401	70.6
半田3	243	63.4	8	11	240	61.5
半田4	134	84.3	0	3	131	79.9
阿久比	189	71.3	7	6	190	70.4
東 浦	318	73.3	4	12	310	79.9
大 府	601	46.1	9	18	592	44.9
東 海	800	49.7	23	29	794	48.9
知 多	363	44.2	12	10	365	44.3
常 滑	486	61.4	8	16	478	61.4
武 豊	227	52.8	4	10	221	51.2
美 浜	190	70.4	4	7	187	68.5
南知多	191	48.2	2	9	184	46.3
合 計	4,582	55.2	106	163	4,525	54.5